



News Release

2025年12月15日

各 位

会 社 名 栄研化学株式会社
代 表 者 名 代表執行役社長 瀬川雄司
コード番号 4549 東証プライム

CDP 「気候変動」において最高評価であるAリスト企業に選定

栄研化学株式会社（本社：東京都千代田区）は、この度、国際的な環境非営利団体であるCDPが実施し世界の調査対象企業が回答した「気候変動」対応に関する調査において、昨年度に引き続き最高評価であるAリスト企業に選定されましたのでお知らせいたします。

当社グループは、2022年4月に公表した「EIKEN ROAD MAP 2030」において、「気候変動への対応」をマテリアリティの一つとして掲げ、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、具体的な目標を定め、計画的・継続的に取り組みを進めております。その目標については、2024年2月にSBTi^{*}の認定を取得しております。省エネ活動、環境配慮型製品の開発・提供などに加え、主要生産・研究拠点において、地産の水力発電由来の電力を採用することにより、電力由来のCO₂をゼロにするなど、地球環境と調和した事業活動を通じて社会課題の解決に貢献してきたことが、今次質問書にて評価されたものと理解しております。

今後も、当社グループは、「ヘルスケアを通じて人々の健康を守ります。」の経営理念のもと、サステナビリティ方針に基づき、気候変動への対応をはじめとしたESGの取り組みを強化してまいります。また、CDP質問書回答やウェブサイト、統合報告書などを通じて積極的に情報開示を行い、ステークホルダーの皆様への責任を果たし、企業価値の向上、ひいては持続可能な社会の実現を目指してまいります。



^{*}SBTi：パリ協定が求める水準と整合した、科学的根拠に基づいた温室効果ガス削減目標（Science Based Target）であることを認定する国際的なイニシアチブ

<参考>

栄研グループのサステナビリティ：<https://www.eiken.co.jp/sustainability/>

「栄研化学 統合報告書 2025」：<https://www.eiken.co.jp/ir/integrated/>

ESG データ集：https://www.eiken.co.jp/sustainability/esg_data/

マテリアリティと KPI：[Materialities&KPIs_2507.pdf](#)

【CDP について】

CDP は、企業や自治体の環境情報開示のための世界的なシステムを有する国際的な非営利団体です。2000年の設立以来、CDPは資本市場と企業の購買力を活用することで、企業が環境影響を開示し、温室効果ガスを削減し、水資源や森林を保護することを促進する取組みを先導してきました。現在では142 兆米ドル以上の資産を保有する700を超える署名金融機関と協働しています。2024年には、世界の時価総額の3分の2に相当する23,000社以上、1,100以上の都市、州・地域を含む、世界中の24,000を超える組織がCDPを通じてデータを開示しています。

CDPスコアはネットゼロ、持続可能でレジリエントな経済を構築するために投資や調達の意思決定に広く活用されています。CDP は、科学に基づく目標設定イニシアチブ (SBTi)、We Mean Business連合、The Investor Agenda（機関投資家の気候変動対策推進イニシアチブ）、NZAMI（ネットゼロ・アセットマネジャーズ・イニシアチブ：Net Zero Asset Managers Initiative）の創設メンバーです。

CDPでは、世界中の企業や自治体から収集した環境活動に関する情報開示を集計・分析し、その取組みを8段階（A、A-、B、B-、C、C-、D、D-）で評価しています。

【本件に関するお問い合わせ先】

栄研化学株式会社 サステナビリティ推進部

TEL: 03(5846)3379 、e-mail: koho@eiken.co.jp

ホームページ <https://www.eiken.co.jp>